

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（概要）

島本町教育委員会

調査対象・時期

調査対象 小学校5年生
調査時期 令和6年4月～7月の間に各学校において実施

実技集計結果（小学校・男子）

小学校 5年男子	握力(kg)		上体起こし(回)	
	平均値	T得点 【全国を50とした値】	平均値	T得点
R6全国	16.0	50.0	19.2	50.0
R6島本町	16.8	52.1	18.6	49.0
R5島本町	16.1	50.0	18.1	48.5

小学校 5年男子	長座体前屈(cm)		反復横とび(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	33.8	50.0	40.7	50.0
R6島本町	31.7	47.6	38.0	46.8
R5島本町	34.7	50.8	37.9	46.7

小学校 5年男子	20mシャトルラン(回)		50m走(秒)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	46.9	50.0	9.5	50.0
R6島本町	47.4	50.2	9.3	51.4
R5島本町	49.2	51.1	9.2	52.2

小学校 5年男子	立ち幅とび(cm)		ソフトボール投げ(m)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	150.4	50.0	20.8	50.0
R6島本町	151.0	50.2	21.8	51.3
R5島本町	146.9	48.2	21.2	50.9

小学校 5年男子	体力合計点(点)	
	平均値	T得点
R6全国	52.5	50.0
R6島本町	52.5	49.9
R5島本町	52.5	49.9

< T得点 >

全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。

実技集計結果(小学校・女子)

小学校 5年女子	握力(kg)		上体起こし(回)	
	平均値	T得点 【全国を50とした値】	平均値	T得点
R6全国	15.8	50.0	18.2	50.0
R6島本町	15.8	50.0	16.3	46.6
R5島本町	15.5	48.6	16.6	47.3

小学校 5年女子	長座体前屈(cm)		反復横とび(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	38.2	50.0	38.7	50.0
R6島本町	36.2	47.8	34.9	44.9
R5島本町	37.8	49.2	36.5	47.0

小学校 5年女子	20mシャトルラン(回)		50m走(秒)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	36.6	50.0	9.8	50.0
R6島本町	33.0	47.7	9.7	50.5
R5島本町	35.9	49.4	9.7	50.5

小学校 5年女子	立ち幅とび(cm)		ソフトボール投げ(m)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R6全国	143.1	50.0	13.2	50.0
R6島本町	138.1	47.7	11.8	47.2
R5島本町	138.0	47.2	13.3	50.2

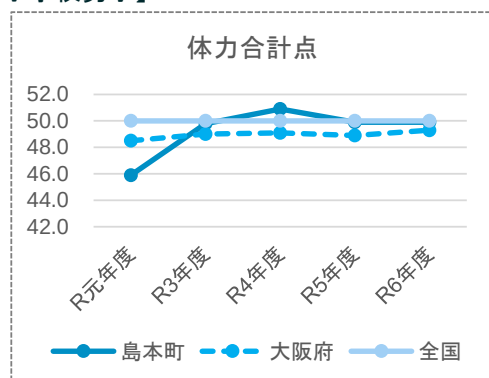
小学校 5年女子	体力合計点(点)	
	平均値	T得点
R6全国	53.9	50.0
R6島本町	50.8	46.6
R5島本町	52.6	48.2

<T得点>

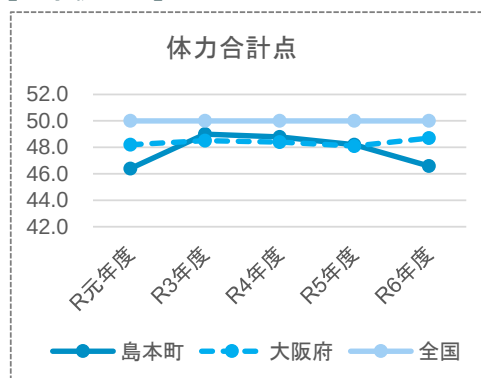
全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。

結果の概要(小学校) 体力合計点の経年比較(T得点【全国50とした比較値】)

【小学校男子】

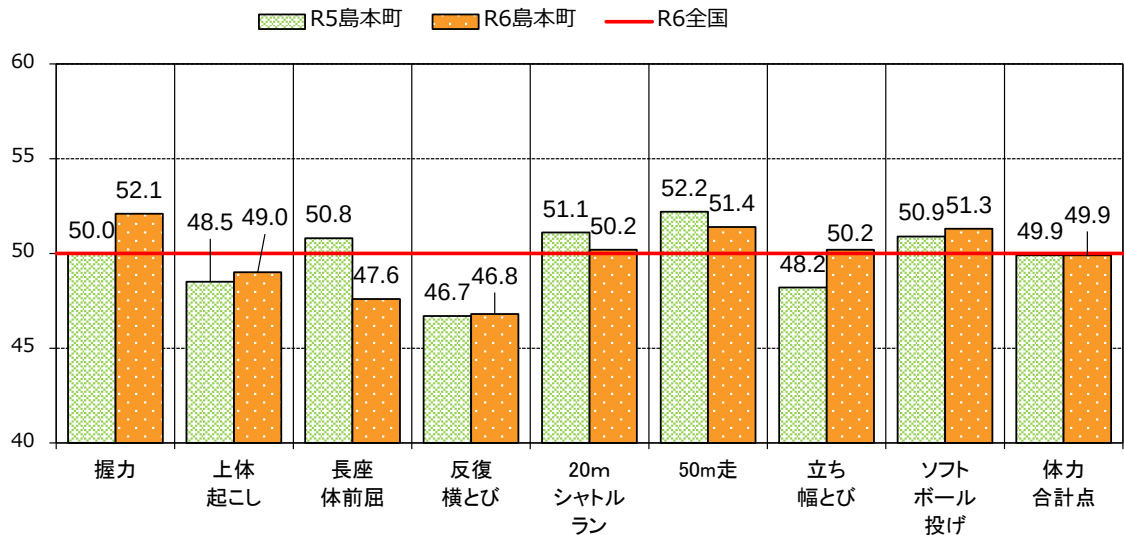


【小学校女子】



年度	小学校男子			小学校女子		
	島本町	大阪府	全国	島本町	大阪府	全国
R元年度	45.9	48.5	50.0	46.4	48.2	50.0
R3年度	49.8	49.0	50.0	49.0	48.5	50.0
R4年度	50.9	49.1	50.0	48.8	48.4	50.0
R5年度	49.9	48.9	50.0	48.2	48.1	50.0
R6年度	49.9	49.3	50.0	46.6	48.7	50.0

小学校男子 T得点【R6年度全国を50とした比較値】

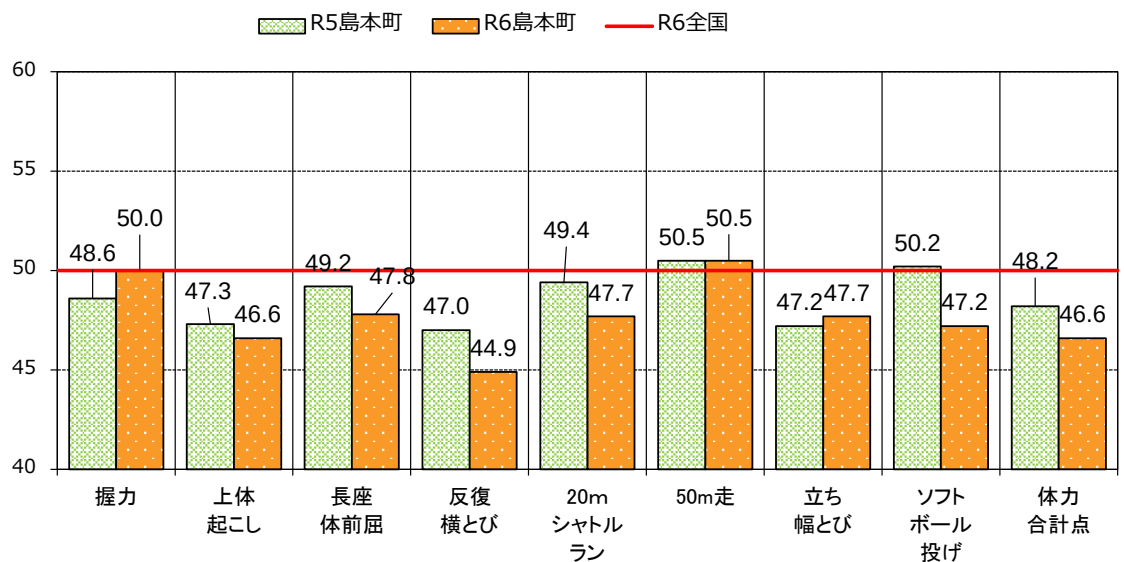


○種目別結果では、「握力」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」で、全国より高い結果となった。また、令和5年度と比較すると、「握力」「上体起こし」「反復横とび」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」の5種目で、T得点が伸びている。・・・**成果**

●体力合計点におけるT得点は【49.9】で、令和5年度から増減なしであった。

●令和5年度と比較して、「長座体前屈」が3.2ポイント低下した。・・・**課題**

小学校女子 T得点【R6年度全国を50とした比較値】

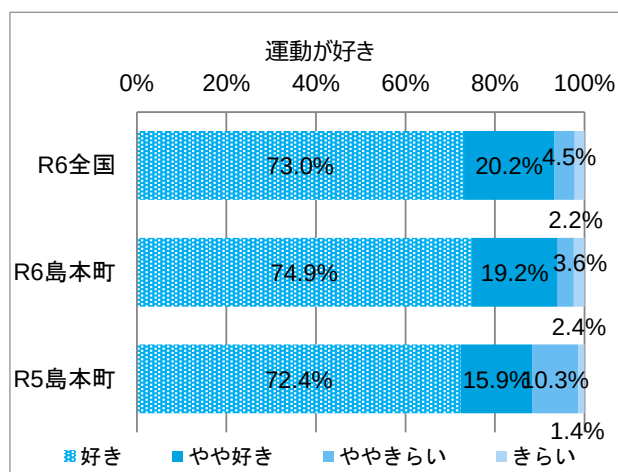


○種目別では、「50m走」で、全国より高い結果となった。また、令和5年度と比較すると、「握力」「立ち幅とび」の2種目で、T得点が伸びている。・・・**成果**

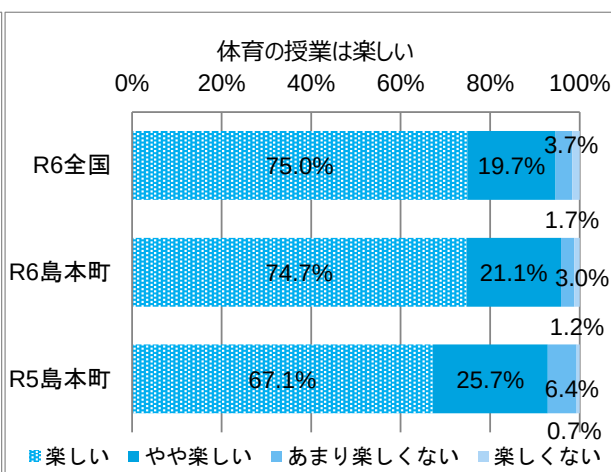
●体力合計点におけるT得点は【46.6】で、令和5年度から1.6ポイント減少した。・・・**課題**

●令和5年度と比較して、「ソフトボール投げ」が3.0ポイント、「反復横とび」が2.1ポイント減少した。また、「反復横とび」は全国と比較して5.1ポイント低い結果であった。・・・**課題**

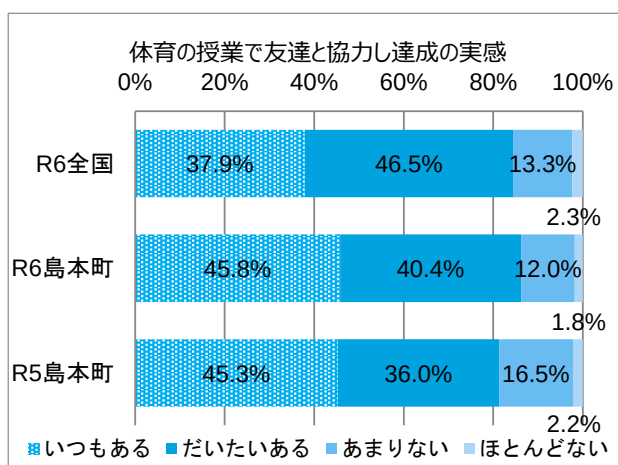
運動習慣等調査(小学校・男子)



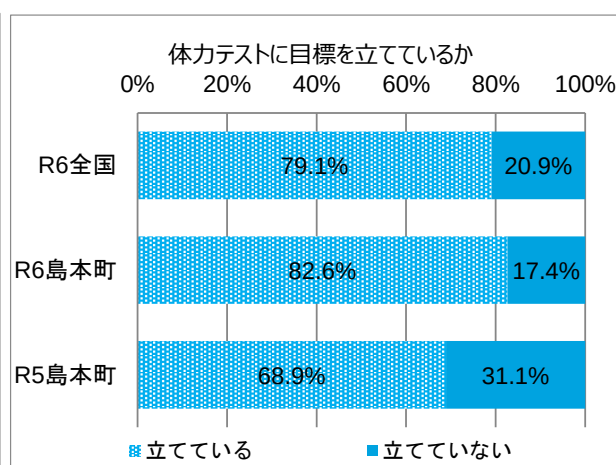
「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」に関しては、全国と比較して「好き」が1.9ポイント高く、令和5年度本町と比較しても2.5ポイント高くなった。…**成果**



「体育の授業は楽しいですか。」に関しては、令和5年度本町と比較して「楽しい」が7.6ポイント高くなった。「楽しい」と「やや楽しい」の合計ポイントは全国と比較して1.1ポイント高くなった。…**成果**

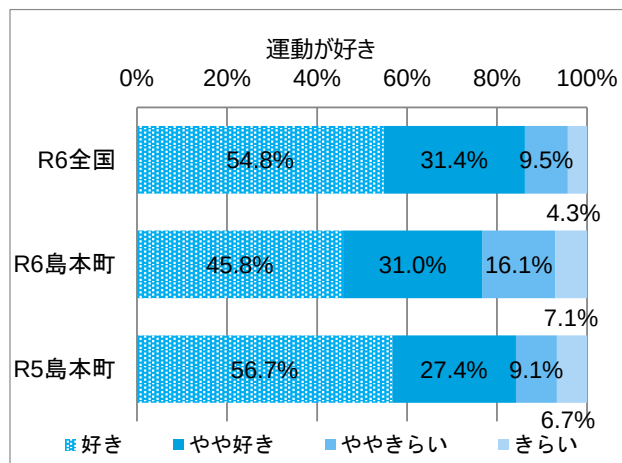


「体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、令和5年度本町と比較して肯定的回答が4.9ポイント高くなった。全国と比較すると、「いつもある」が7.9ポイント高かった。

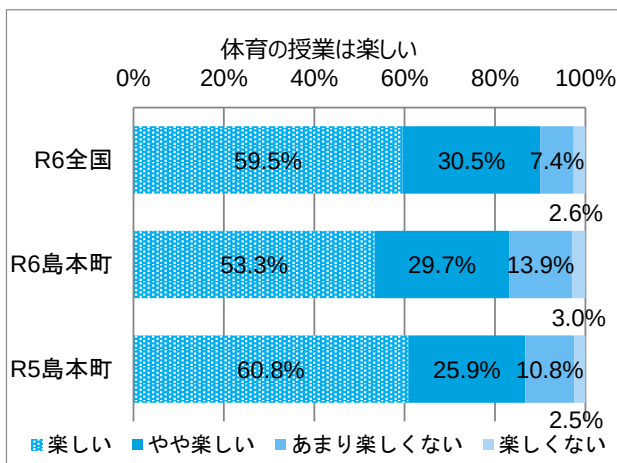


「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。」に関しては、「立てている」と回答した割合が、全国と比較して3.5ポイント高い結果となり、令和5年度本町と比較すると13.7ポイント高くなった。…**成果**

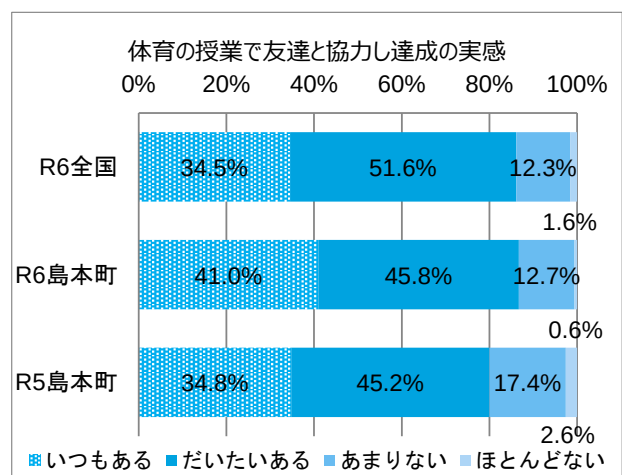
運動習慣等調査(小学校・女子)



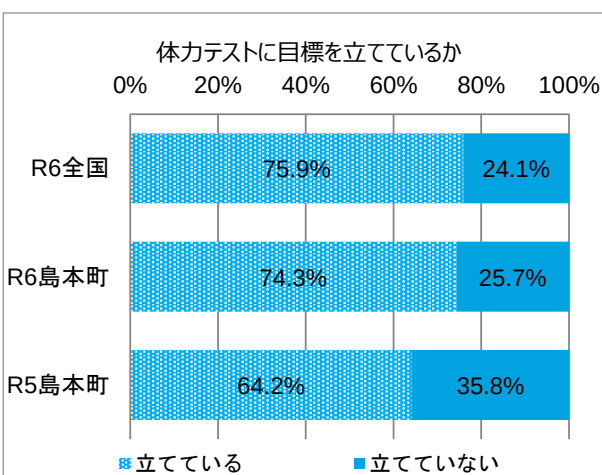
「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」に関しては、「好き」が全国と比較して9.0ポイント低く、令和5年度本町と比較しても10.9ポイント低くなった。・・・課題



「体育の授業は楽しいですか」に関しては、全国と比較して「楽しい」が6.2ポイント低くなった。令和5年度本町と比較しても7.5ポイント低くなった。・・・課題



「体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、令和5年度本町と比較して「いつもある」と回答した割合が6.2ポイント高くなった。しかし、全国と比較すると肯定的回答が0.7ポイント低い。



「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。」に関しては、令和5年度本町と比較して「立てている」と回答した割合が10.1ポイント高くなった。・・・成果

調査結果の分析と今後の方策【小学校】

分 析

【成果】

○令和5年度と比較し、体力合計点は男女ともに全国平均を下回ったものの、男子で5種目、女子で1種目全国平均を上回り、男子で5種目、女子で2種目、令和5年度を上回る結果となった。また、男子の「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」及び「体育の授業は楽しいですか。」や、男女で「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。」に対する肯定回答割合が全国平均や令和5年度結果を上回ったことから、各小学校がめあての設定や到達度の確認を重視する授業改善の取組を進めてきた成果があらわれつつあると考えられる。

【課題】

●男子では「長座体前屈」、女子では「ソフトボール投げ」で令和5年度と比較して約3ポイントT得点が減少した。女子の体力合計点は令和5年度と比較して1.6ポイント減少し、全国平均と比較して3.4ポイント少ない結果となった。

●女子の「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」及び「体育の授業は楽しいですか。」に対する回答において、それぞれ強肯定回答が全国平均と比較して9.0ポイント、6.2ポイント低くなった。

以上のことから、特に女子において、運動や体育そのものに肯定的な意識を持つ児童が少なく、このことがスポーツテスト結果の伸び悩みに関係があると分析できる。

今後の方策

①「楽しさや喜び」に出会える授業を意識する。

⇒心身の健康を保持増進させる、という学習指導要領上の目標に基づき、各種の運動の楽しさや喜びを児童に経験させることで、次の学びへつなげる素地を育成することを目指す。

②運動やスポーツの特性や魅力を実感する機会をつくる。

⇒①に関連して、運動やスポーツに対して自己の適性等に応じた多様な関わり方を見いだすことができるようになることを目指し、体育科授業のみならず、トップアスリートふれあい事業等も活用し、様々な機会を提供する。

③「話し合いのある授業」を促進する。

⇒筋道を立てて練習や作戦について話し合うこと等を通じて、コミュニケーション能力や論理的な思考力の向上を促し、他教科でも転用可能な言語活動を充実させるとともに、友だちと関わることで得られる達成感を得られるようにする。